

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞〔発生抑制・搬出抑制部門〕
受賞者	株式会社鴻池組 大阪本店 ワコーレ新町計画新築工事
受賞テーマ	流動化処理土の活用による3Rの取り組み

【取組概要】

当現場は地下1階、地上19階建ての集合住宅の新築工事現場である。

- ①敷地南側に本体建物とは別に機械式駐車場とデイスポーター処理槽がある。
- ②当初計画では両者ピットの下を地盤改良する予定だった。
- ③品質の確保、環境影響の低減等の理由から流動化処理土による埋戻しに変更した。

<流動化処理土への変更理由>

- ①既存土にシルト分が多く含まれており良好な攪拌作業が難しいと思われたこと。
- ②掘削部の地下水分により良好な攪拌作業が難しいと思われたこと。
- ③上記により既存土での地盤改良では品質の確保が難しく、同工法であれば一度掘削後、良質土を購入しそれを現地で改良し埋め戻す必要があると思われたこと。
- ④攪拌作業時に発生する粉じん、重機騒音・振動により近隣への影響が大きいと思われたこと。
- ⑤狭い敷地で有効な上記近隣対策が難しいと考えられたこと。

（１）リデュース

- ①セメント系固化材の梱包材：トン袋（25袋）

（２）リユース

- ①流動化処理土（大幸工業よりリサイクル品を搬入）：208m³

（３）その他

- ①重機作業の取止めによりCO₂排出量の削減
- ②重機作業の取止めにより騒音、振動等近隣住民に対する環境影響を削減できた。
- ③攪拌作業の取止めにより粉塵等近隣住民に対する環境影響を削減できた。
- ④六価クロム発生の可能性が削減できた。

【評価ポイント】

- ・機械式駐車場等のピット下の地盤改良（又は良質土埋め戻し）に代えて、建設汚泥由来の流動化処理土（208m³）を埋め戻し材として活用



流動化処理土打設状況